

HITACHI

Inspire the Next

遠隔監視と予兆診断により、
安定稼働と計画的な保守整備をサポートします。

exiida 遠隔監視・予兆診断^{※1}

※1 「exiida予兆診断」は「exiida遠隔監視」の契約が必要です。予兆診断は冷凍サイクルに起因するものに限りです。

「exiida」は日立の空調IoTソリューションの総称です。

「exiida遠隔監視・予兆診断」は冷凍・空調機器をインターネット上の当社クラウドサーバーへ接続し、膨大なデータを蓄積・分析することでさまざまなサービスを提供します。

これらのサービスは、お客さまの設備に関する維持管理コストの抑制をサポートします。

製造工場編

遠隔監視の効果

迅速な対応

運転状態を24時間監視し、故障発生時はすぐにお客さまへ通知します。また、直前の運転データを確認することができ、迅速な修理が可能となります。

設備管理の省力化

運転データをデータベース化します。運転状態の記録管理など、設備管理の省力化が図れます。

予兆診断の効果

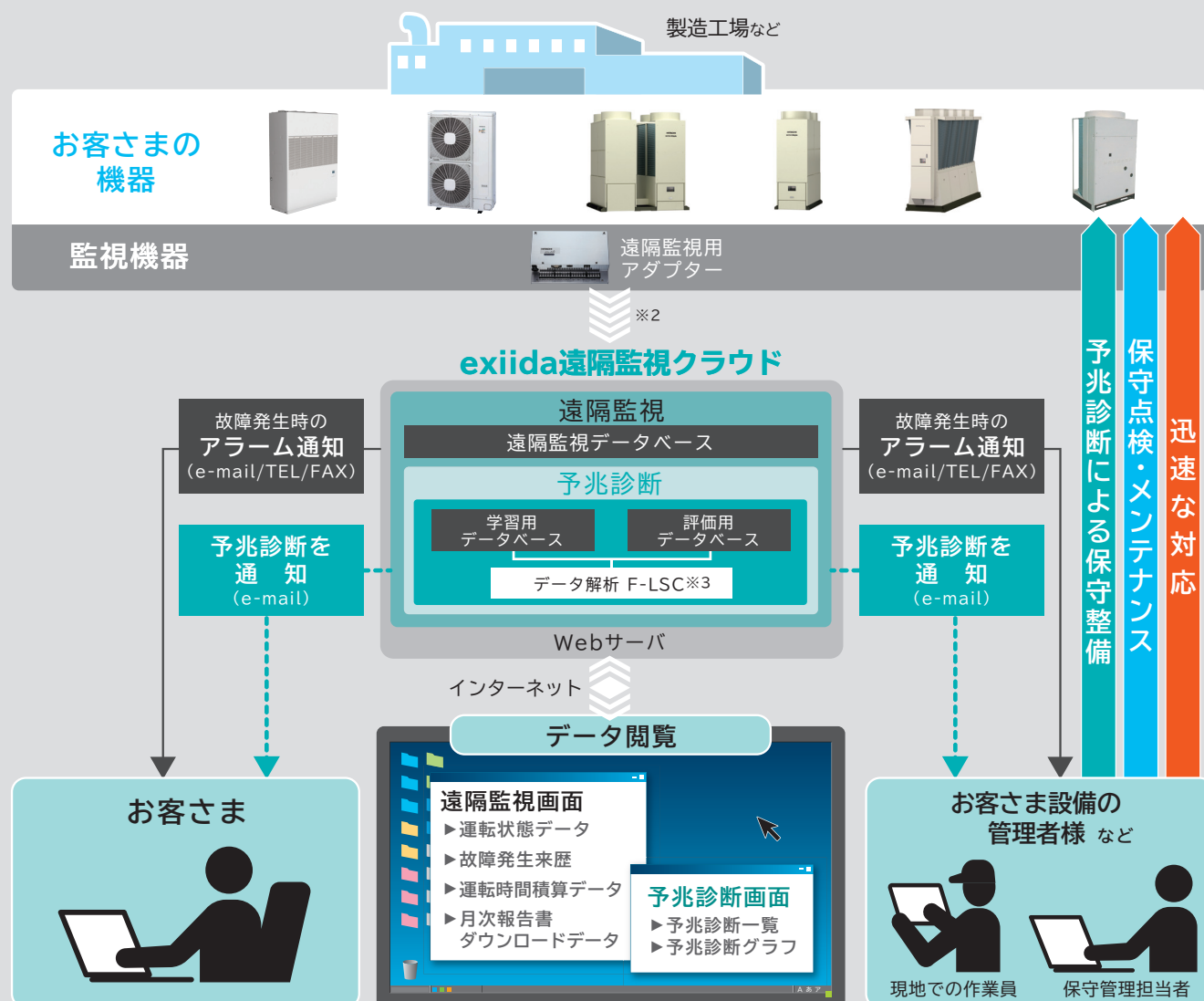
事業機会の損失抑制

予兆診断技術により、故障につながる変化を検知。状態基準での予防保全を行うことで不稼働時間が短縮され、事業機会の損失が抑制できます。

維持管理コストの抑制

予兆診断の結果にもとづく適切なタイミングで保守整備を実施。これにより、重大故障を抑制し、維持管理コストを抑制できます。

exiida 遠隔監視システム



現場から離れていても専用サイトで運転データを確認可能

*推奨ブラウザ: Internet Explorer® 11以降。Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※2 セキュリティ対策として閉域網通信を利用。※3 F-LSC (Fast-Local Sub-space Classifier): 高速局所部分空間法。

課題

生産設備・保管庫などの冷熱機器、従業員が作業する製造現場での空調機器が突然故障すると…

製造工場：生産ライン・保管設備などが…

生産ラインが停止し、計画の見直しなどを迫られる

材料・商品の保管が困難となる

調達や出荷などの物量調整や、製品の移動など余分な業務が発生します

従業員：職場環境が悪化することで…

集中力の低下による作業効率の悪化

熱中症をはじめ、体力面のリスクが高まる

代替品の準備や、従業員の体力面を考慮した勤務体系の見直し調整などが発生します

導入

予兆診断

日立独自の解析手法(F-LSC)を用いた予兆診断の導入により冷凍サイクルに関する故障につながる変化※1を検知。

※1 圧縮機故障、冷媒漏えい、電磁弁故障、膨張弁故障等の冷凍サイクルに起因するものに限り、(電気部品の故障や突発的な故障は除きます。)



解決

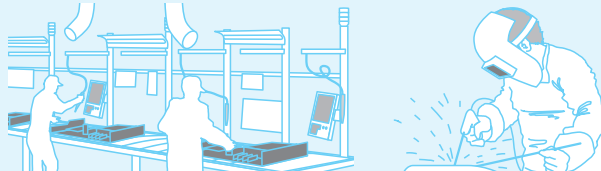
安定稼働による計画的な製造と生産性の確保

突然の冷熱・空調機器故障による事業機会の損失抑制



冷凍機器やチラーユニットの故障による生産ラインや設備への影響を回避し、計画的な生産量を確保できます。また、製品の移動など不要な業務の発生による2次リスクのコストを抑制できます。

従業員が安心して「働ける環境」の維持

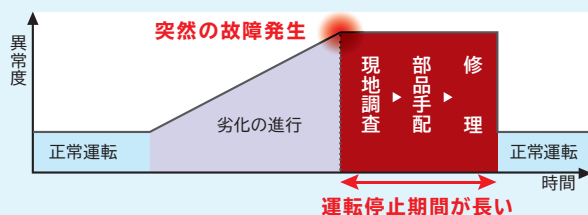


生産ラインをはじめ、福利厚生施設(食堂・休憩所など)や執務室に快適な空調環境を提供することで、従業員が安心して働ける環境を維持できます。

突発的な故障による事業機会の損失を抑制

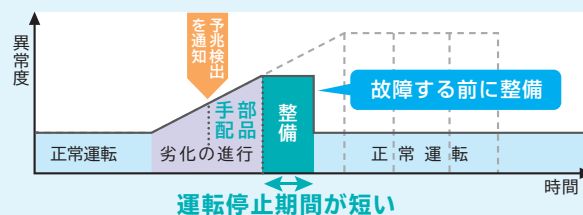
導入前

機器の劣化が進行し、故障にいたる場合でも、故障発生後の対応となるため**不稼働時間が長くなります。**



導入後

予兆診断により劣化の進行を検知。計画的な整備の実施により不稼働時間の短縮が図れ、**運転停止の影響を低減**できます。



exiida遠隔監視、予兆診断の利用に際しては、事前契約(有償)が必要となります。サービス料金は遠隔監視アダプターの台数、監視対象機器の種類や数量により異なります。機器の補償内容、予兆診断対象機器、接続台数など詳細については、当社営業窓口までお問い合わせください。

exiida遠隔監視・予兆診断
対象機種

最新の対応機種情報に関しては、日立販促支援サイト「検索の達人」で検索可能です。

日立販促支援サイト「検索の達人」

<https://www2.hitachi-gls.co.jp/>

